

岩木川ダム 統管だより

070号
2023年
(令和5年)
2月28日



津軽ダムパーク

スノーアートに初挑戦

浅瀬石川ダム冬のライトアップ
津軽伝承工芸館 雪の降るさと2023
西目屋村 乳穂ヶ滝ライトアップ
津軽ダム 冬のライトアップ

浅瀬石川ダム・津軽ダム 今年度の見学者数
今月の昔っこ

浅瀬石川ダム 冬の ライトアップ

令和5年2月3日(金)から12日(日)まで10日間、浅瀬石川ダムで3年ぶりとなる“冬のライトアップ”を実施しました。このライトアップは、浅瀬石川ダム立地市の黒石市内で雪像作りなどが盛んに行われ、ダム近くの津軽伝承工芸館で実施される“雪の降るさと2023”の開催時期に合わせて実施しました。

ダム直下流の思い出の広場は、寒い中ダムライトアップを見物しようと連日多くの方で賑わっていました。



▲雪の中、ライトアップ撮影をする人々で賑わった



▲イメージキャラクターあっちゃんの動画投影



▲雪の浅瀬石川ダム天端

雪の降るさと2023

令和5年2月4日(土)から12日(日)、黒石温泉郷雪まつり“雪の降るさと2023”が黒石市袋の津軽伝承工芸館を会場に3年ぶりに開催されました。

会場では、大小個性豊かな雪だるまが並ぶ「雪だるまワールド」や「スノーモービル乗車体験」などが催され家族連れなどを楽しませていました。

また、夕暮れからは雪の回廊にろうそくが灯されたほか、約60cmのこけし灯籠50個に明かりが灯り、幻想的な雰囲気温泉郷を包み込みました。



▲雪だるまワールド！巨大雪像がお出迎え



▲こけし灯籠は1体ずつ表情が異なります



▲雪の回廊に明かりが灯りました



▲りんご箱に雪だるまの家族？

西日屋村～乳穂ヶ滝ライトアップ～

滝の結氷状況により農作物の豊凶を占うことで知られる『乳穂ヶ滝』で令和5年2月1日(水)から19日(日)、“乳穂ヶ滝ライトアップ(実施：目屋観光協会)”が実施されました。昨年4年ぶりの完全結氷となり認知度を高めた乳穂ヶ滝は、あと少しで2年連続の結氷と期待を寄せられ多くの見物客で昼夜賑わいましたが、2月12日(日)午後、あと1mほどで結氷というところで崩落。残念ながら、今年は結氷に至りませんでした。



▲ライトアップ中(令和5年2月6日)の乳穂ヶ滝の様子。土台の氷の形が話題に

乳穂ヶ滝 (におがたき)

県道28号沿い、道の駅津軽白神から津軽ダム方面へ約1.2km直進、左手にある高さ約33mの滝です。滝の裏側の自然洞窟には、不動尊が祀られ、毎年2月の第3日曜日に乳穂ヶ滝氷祭が行われ、滝の氷柱の大きさや形状によって豊凶占いなどが行われます(今年は、昨年一昨年に続き新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止となりました)。

令和5年2月10日(金)から19日(日)まで10日間、津軽ダムで“冬のライトアップ”を実施しました。このライトアップは、西目屋村の“乳穂ヶ滝ライトアップ”とのタイアップで実施しました。今回は、駐車場側の斜面をスクリーンに見立てて動画を投影するプロジェクションマッピングも実施して来訪された方をお出迎えしました。また、津軽ダムパークはクリスマスライトアップから実施しているダムパークイルミネーションを増設し、冬の西目屋村を盛り上げました。

津軽ダム 冬の ライトアップ



▲イルミネーションを増設した“津軽ダムパーク”



▲暖をとるイメージのオレンジグラデーション



▲冬をイメージしたブルーグラデーション



▲冬期限定！駐車場側壁面に動画を投影

津軽ダムパーク スノーアート 初挑戦！

令和5年2月18日(土)、昨年から密かに構想されていた津軽ダムパークでの“スノーアート制作”がついに実現しました。スノーアートとは、スノーシュー（かんじき）の足跡で幾何学模様などを描いていくもので、田舎館村や弘前市のはるか夢球場で実施されているのが広く知られています。

豪雪地域の西目屋村でできるのか、視点場はどうするか等多くの課題はあったものの、1夜で消えてしまう儚さもアートであり、制作後はドローン撮影をして多くの方に見ていただこうと、今回初の挑戦を行いました。

制作は、『スノーアーティスト集団It's OK.』が手がけ、西目屋村伝統の「西こぎん」模様と目屋人形が背負う炭俵をイメージした模様で作られました。トータル約4時間ほどで、完成したスノーアート（30m×60m）は制作段階から日暮れまで述べ53名の方にご覧頂きました。



▲ロープを張ることもなく迷いのない歩みで描かれた



▲スノーアーティスト2名によって描かれたスノーアート

令和4年度 ダム見学実施状況

浅瀬石川ダム

●4月～1月末まで
31団体/1,086人

内訳

小学校：28団体/875人
中学校：0団体/0人
高等学校：1団体/180人
その他：2団体/31人



R4.9.6 青森県土地改良区 様

津軽ダム

●4月～1月末まで
54団体/1,244人

内訳

小学校：15団体/561人
中学校：3団体/127人
高等学校：4団体/206名
その他：32団体/350人



R4.6.3 弘前市立北小学校 様



～両ダムともに、見学者数が回復してきました。現在も、見学予約受付中です。詳しくはHPをご覧ください。～

今月の昔っこ（昔話）

岩木川ダム統管理事務所のホームページでは、毎月1話津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第12作目となる2月のお話は『運のいい婿』です。

気が優しくて力持ち、そしてイケメンの若者。これって最強！だけど貧乏。庄屋の義父に持っていく小正月のお土産が無い。手作りの弓を持って山へ行くと、思わぬ偶然が次々と。



編集後記

ヘルメットおばさんこと私、先日『大型特殊自動車免許』を取得しました～パチ☆これでまた、真のヘルメットおばさんに一歩近づきました。6時間の実技講習だけで卒業検定を受けることができちゃうんです。

その後免許センターで、免許証を新しくしたわけなのですが、問題発生です。あの写真は何故いつも失敗してしまうのでしょうか(泣)マスクをはずして鼻をすすり、「前髪をもう少し分けてください」との声に反応して…出来上がった免許を見ると目が小さい！誰だこのおばあさん…言うなれば五木ひ〇しのモノマネみたいな顔をしていました。この写真で5年はつらい…と思いました。(対馬)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422

青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035

FAX 0172-85-3061



〈ホームページ〉

〈Twitter〉

岩木川ダム統管理事務所
ホームページアドレス

<https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

公式Twitter @mlit_iwakito